

## 製品安全データシート

改訂年月日 2010年12月30日

## 1. 製品および会社情報

製品名 換気扇リパック  
 会社名 株式会社リンレイ  
 住所 〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目10番13号  
 担当部門 秦野工場 生産技術課  
 電話番号 0463-81-5455  
 FAX番号 0463-82-4700

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性：引火性液体：区分2

健康に対する有害性：皮膚腐食性/刺激性：区分3

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激：区分2A

生殖細胞/変異原生：区分1B

特定標的臓器（単回暴露）：区分3（中枢神経系、気道、麻醉性）

特定標的臓器（反復暴露）：区分2（肝臓、神経系）

環境に対する有害性：該当しない

上記で記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

## シンボル



注意喚起語：危険

危険有害性情報：引火性の高い液体および蒸気

軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれまたは眠気およびめまいのおそれ

長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ

## 3. 組成、成分情報

## 化学物質・混合物の区別

成分名/化学名	含有量 Wt%	CAS. No.	化審法No.	安全衛生法No. 通知対象物	PRTR法No. 第1種、第2種
可剥離性合成樹脂	60-70	非公開	—	非該当	非該当
剥離助剤	1-5	非公開	—	非該当	非該当
エチルアルコール（変性）	29.3	64-17-5	2-202	通知物質	非該当

## 4. 応急措置

#### 目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・医師の診断を受けること。

#### 皮膚に付着した場合

- ・大量の水及び石けん又は皮膚用の洗剤を用いて十分に洗い落とす。  
溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化がみられたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

#### 吸入した場合

##### 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合

- ・直ちに医師の診断を受ける。
- ・直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
- ・呼吸が不規則か、止まっている場合には、人工呼吸を行う。

##### 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合

- ・空気の清浄な場所で安静にする。
- ・必要があれば、医師の診断を受ける。

#### 飲み込んだ場合

- ・被災者の意識のあるなしに関わらず、口から何も与えてはならない。また、吐かせてもならない。
- ・安静にして、直ちに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

使用可能消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂、噴霧水 等

消火方法 : 可燃性の物を周囲から取り除く。  
適切な保護具（耐熱着衣など）を使用する。  
棒状の水を消火に用いてはならない。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。

#### 環境に対する注意事項

- ・河川などへ排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- ・地域の規則に従う。

#### 回収方法

- ・多量に漏出した場合 : 土のう等で拡散を防止し、凝集・凝固剤等で凝集措置をする。  
その後、回収する。
- ・少量の場合 : 乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。

### 7. 取り扱いおよび保管上の注意

#### 取り扱い

##### <技術的対策ならびに注意事項>

- ・換気のよい場所で取り扱う。
- ・保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・容器はその都度密閉する。

##### <安全取り扱い注意事項>

- ・物質との接触を避ける。

#### 保管

##### <保管条件>

- ・日光の直射を避ける。

- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・ 凍結に注意する。

## 8. 暴露防止および保護措置

### 設備対策

- ・ 屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とすること。

### 保護具

- ・ 目の保護 : ゴーグル等を使用する。
- ・ 皮膚および身体の保護 : 皮膚を露出しない着衣、化学薬品が浸透しない材質の手袋を着ける。
- ・ 呼吸系の保護 : 保護マスク等を着用する。

## 9. 物理的および化学的性質

物理的状态 : 微黄色微濁粘稠液体

臭気 : 特有芳香及びアルコール臭

蒸気圧 : 5866 Pa (アルコール類・@25°C)

不揮発分 : 28.0 ± 2.0 %

引火点 : 17°C (T a g. C. C)

発火点 : データなし

爆発限界 : (下限) 3.3 vol. %

(上限) 19.0 vol. % (アルコール類)

その他 : 特になし

## 10. 安定性および反応性

安定性 : 一般環境下で安定

危険な反応 : なし

避けるべき条件 : 低温、高温となる環境

避けるべき材料 : 強酸化剤との混合禁止

危険有害な分解生成物 : なし

### 11. 有害性情報

物理化学的危険性 : 主成分である可剥性合成樹脂の引火点が23°C以下、初留点が35°C以上であるので区分2とした。

急性毒性 経口 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

経皮 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

吸入 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

皮膚腐食性・刺激性 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分3なので区分3とした。

眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分2Aなので区分2Aとした。

呼吸器感受性/皮膚感受性 : 主成分である可剥性合成樹脂が分類できないので分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分1Bなので区分2とした。

発がん性 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

生殖毒性 : 主成分である可剥性合成樹脂が分類できないので分類できないとした。

特定標的臓器・単回暴露 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分2 (中枢、神経系)、区分3 (気道、麻醉性) なので区分3とした。

特定標的臓器・反復暴露 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分1 (肝臓)、区分2 (神経系) なので区分2とした。

吸引性呼吸器有害性 : 主成分である可剥性合成樹脂が分類できないので分類できないとした。

### 12. 環境影響情報

#### 水生環境

急性有害性 : 主成分である可剥性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

慢性有害性：主成分である可塑性合成樹脂が区分外なので区分外とした。

### 13. 廃棄上の注意

#### 残余廃棄物

- ・ 廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さない事。
- ・ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。
- ・ 地域の規則に従う。

#### 汚染容器・包装

- ・ 容器等の廃棄物は許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。
- ・ 地域の規則に従う。

### 14. 輸送上の注意

国連分類：クラス3 可燃性液体に該当

国連番号：容器等級 I

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

海上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

航空輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法等に該当する場合、法令に従って輸送する事。

### 15. 適用法令

消防法	第4類 第1石油類
PRTR法	該当しない
労働安全衛生法	通知物質「エチルアルコール」を含有
毒物及び劇物取締法	該当しない
船舶安全法	可燃性液体に該当、国連分類及び番号を適用
航空法	可燃性液体に該当、国連分類及び番号を適用

### 16. その他の情報

特になし

**(注意)** このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては、必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。